

草原の響き

～ホーミーと馬頭琴の調べ～

日時 2010年11月7日(日) 開場 14:30 開演 15:00

料金 1,500円(入館料込) 中学生以下 1,000円(入館料込)



二つの声を同時に発声し、草原の風の音を表現するホーミーと、草原のチェロとも言われる馬頭琴の演奏はいかがですか。日本人唯一、モンゴルホーミー協会からプロとして認定を受けた梅木秀徳さんの演奏をお楽しみください。秋のひと時、モンゴルの草原を感じてみませんか。

梅木秀徳

1977年岩手県生まれ。98年初めてモンゴルに渡り、伝統楽器馬頭琴を手にしたことをきっかけに、モンゴル音楽の虜になる。ホーミー指導の第一人者バートル・オドスレン氏に素質を認められ、同氏の指導の下、ホーミーを習得。モンゴルホーミー協会からプロフェッショナルホーミー歌手の認定を受ける。03年西モンゴルにて開催されたホーミーフェスティバルコンテストにおいて特別賞を受賞。またシベリアのトゥバ共和国の喉歌ホーメイやアルタイ共和国の喉歌カイの演奏にも力をいれ、当地を数度訪れ修行をする。現在も、モンゴルやシベリアの地を訪れながら修行を積み、国内では全国各地でホーミー・馬頭琴の演奏・普及に力をいれ活躍している。

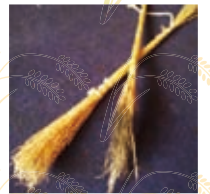


日時 2010年10月31日(日)

10:00～16:00(随時受付)

料金 500円(入館料別途)

わら筆をつくろう



毎日食べている、お米。

そのお米は、おいしい水と大地に育まれ農家の方々によって一生懸命作られる。お米はご飯に、もみがらは肥料に、最後に残ったわらで筆を作りましょう。わら筆は味のある線を描くことができます。自分だけの筆を作りませんか？

わら筆をひろげていきたい

講師：東 明美

古代から日本人は米を主食としてその命をつないでいたといわれています。その米の育ての親ともいえる稲藁も又、自然からのかけがえのない、いただきもの。米同様、神聖なものとして大切にしてきました。祭りの時に掲げる幡に書く大字には、藁筆が使われていました。藁に対する日本人の価値観が「藁筆」を誕生させたといえるでしょう。

今問われている物質文化のありようを考える上からも、毎年収穫する大量の藁を「ものづくり」の素材として積極的に活かしてみようと思います。そして、その一つの試みとして「藁筆づくり」の輪をもっともって広げたいと思います。

安達原玄仏画美術館

〒408-0019

山梨県北杜市高根町村山東割2358-5

TEL 0551-46-2311 FAX 0551-46-2313

URL <http://mandala-museum.jp>

開館時間 9:00～17:00 休館日 火曜日

入館料 600円 中学生300円 小学生以下無料



ハケ岳 ART FESTIVAL 2010

ハケ岳に点在するミュージアムが「エコロジー」をテーマに、それぞれ個性的なイベントとスタンプラリーを10/30～11/8に開催。

10/30には小淵沢アルソア野外劇場にてオープニングイベントを開催。



ハケ岳ミュージアム協議会
<http://yatsugatake-museum.jp>



©Matsumura Masako